

第 576 回 例 会

26年1月31日

本日のプログラム

- ・ソング 「手に手つないで」
- ・卓話 菊 泰仁 会員
「未病 HQCチェック」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」

次回(2月7日)のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 大谷 定子 会員
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 5階「ガーデンルーム」
- ・第8回理事会 13:40～ 4階「萩の間」

2月の例会予定

- ◎7日 卓話 大谷会員
- ◎14日(金) 卓話 高橋会員
- ◎21日 地区大会参加のため移動例会
- ◎28日 クラブフォーラム(国際奉仕・会報広報・職業奉仕)

先週(1月24日)の例会報告

■会長の時間

『酷い条件の下では、一時間は二時間にも三時間にも感じる。しかし、酷い条件がそう感じさせるだけで、一時間の仕事は一時間分の仕事である事には変わりはない。以後、私は、酷い条件化では、もう充分だと思っても、その後、それまでの三倍はねばる事になっている。やっとそれで充分なのだ。』 (黒沢 明)

映画『姿三四郎』(1943年)は、黒澤明氏(1910～1998)の監督デビュー作である。

映画のクライマックスをなす三四郎(藤田進)と檜垣源之助(月形龍之介)の「右京ヶ原の決闘」は、箱根の仙石原で撮影された。想像を絶する烈風であったという。決闘シーンを不穏に彩る風そのものは歓迎すべきものであったが、天佑ともいべきその風を映像として万全に使い切ることができなかったことを、黒澤氏は掲出の著書で悔いている。〈私は、強風の中で、もう十分に撮ったと思ったのに、編集の時にみると充分どころか、取り足りないところが沢山あった〉と。

大正時代、相対性理論のアインシュタイン博士が来日したときに歌われた俗謡がある。

♪ 惚れて通えば千里が一里 めしを待つ間のこの長さ おやまあ相対性ですね
恋しい人を待つ時間は長く感じられ、その人と過ごす時間は短く感じられる。同じだけの時間が置かれた状況によって長短さまざまに感じられる不思議な感覚は、誰しも経験があろう。後年、“完璧主義者”の名をほしいままにした黒澤氏でさえ、若気の至りでその錯覚に惑わされた。過酷な条件下の仕事は普段の3倍ねばる。巨匠の残した教訓である。

【来客紹介】 3名

【出席報告】

26年1月24日(第575回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
35名	2名	25名	8名	75%

【幹事報告】

本日は、「メールBOXへの配布資料」・「回覧資料」ともありません。

ニコニコ箱(1月24日)

辻 幸雄・藤田 正信(大阪中央RC) = 4月5日のIMのPRにまいりました。皆様の御参加 宜しくお願い致します。

秋山 千尋 = 本年度の企業経営のテーマは一番多かったのは「スピード」です。何事も短期間に短時間で処理するという事ですが、「高年」にふさわしい課題のようです。

川上 大雄 = ノロウィルスで会社は大騒ぎです。

河田 英子 = 卓話当番。とてもおひさまが輝いてくれてあたたかい日です。

今日は卓話当番です。がんばります。聞いてくださいね!

森本 良嗣 = 寒の真最中ですが、今日は少し暖かくなりそうなのですか。

斧原 邦夫 = 今日はさわやかな小春びより。久し振りの河田会員の卓話を楽しみにまいりました。

上山 祐平 = 本日、仕事で大変大きな結果が出ます。どういう結果になっても、全てを受け入れて頑張ります。

和氣 勝海 = 今日は日差しが暖かな快晴。又一つ幼稚園を完成することができました。

河田先生 卓話楽しみにしています。

卓話(1月24日)

「心育て Part 14」 河田 英子 会員

私の実践してきた国際交流

おはようございます。私はお寺の娘に生まれ両親は戦後の日本の混乱期に疎開先で肺炎で亡くなった姉の供養に幼稚園を始めました。又戦争で息子や夫など働き手を失った地域のお年寄りや未亡人を助け人道支援や他に尽くすことを目標にみ仏様にお仕えしていました。地域には大阪空襲で焼け出された韓国や朝鮮の方が小さな家に大家族が助け合って暮らしている方々がいらして母は赤ちゃんが生まれると御祝に産着を縫ってあげたり高齢の方が病気に成られたりすると栄養や滋養のある食べ物をお届けしたりとても親切でした。ご院さんとか先生とか呼んで私の両親を慕う方々がお礼に来られたりするのをみてく国が違っても言葉が違っても同じ人間と仲良くすることの大切さ教えられて育ちました。又父の友人は高名な書家や芸術家が多く、私達はく人は環境の子言葉通り、温かい家庭で、人に親切で優しい半面自分に厳しい努力家の親の姿勢から受けた影響はとても大きかったと思います。私はたくさんの書物に囲まれ読書好きで情操教育としてピアノやバレエ書道などたくさんのおけいこごとを習い純粹培養の多感な娘に育てられました。両親は西洋音楽特にバッハやベートーベンやモーツァルトが大好きで幼稚園のお昼寝の曲は月光のソナタの第1楽章と言うような環境でした。音楽を志していた私の人生は変わりました。父が突然脳内出血で急逝したのです。父亡きあと母と共に幼児教育に尽くしたいと京都女子大学に進みました。そして夫と出会い大学を卒業後結婚しました。大学の4年間は追いかけて困ったりしました。母のそばに住むことを条件に結婚。夫は世界一の研究者に成ると約束してくれましたから朝早くから夜遅くまで実験観測災害調査と世界中の津波高潮洪水地盤沈下地震などの研究に地球のあちこちを駆け巡っていました。その頃は京都大学防災研究所に研究に来ておられるインドネシアバンドン工科大学津波やオランダのデルフト工科大学地盤沈下カイロ大学アスワンハイダムの土砂堆積などの研究者たちが日曜日ごとにはランチパーティに来られたりお弁当を作って差し上げたりまるで留学生センターでした。優秀な方々で異国での研究に真剣に取り組みられ私達を日本の家族と思って下さっていました。2人の男児にも恵まれました。夫の研究が認められアメリカワシントン大学の客員研究員に選ばれ渡米。シアトルの生活は楽しく夫は35才私は29歳息子は6才3才で若さも未熟さもありません。ワシントン大学は美しい建築物と桜の木々の並ぶ中庭があり素晴らしい環境でした。夫は海洋学部での研究生活が始まり人とのご縁が広がり高名なヴァイオリニストや心理学者や物理学研究所長や学校の先生又海洋学部部長やピアニストなど素敵な方々にささえられ、地域も閑静な住宅街でいたので素敵な方々の御家族と親交を結ぶことが出来ました。未熟な私達に温かい心や配慮して下さる中でいつの間にか日本文化センターの様な家に成りました。得意のお料理でおもてなしたりいくつかの学校でボランティア教師や大学院の聴講をしたりヴァイオリニストのピアノ伴奏者を務めたり大忙しでした。帰国後私達はたくさんの国際交流を実践中です。和をもって貴しとおっしゃられる聖徳太子のおことばを心に刻み努力したいと思えます。

ご静聴有り難うございました。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mail: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459

会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか